

会津若松 市民憲章だより

発行・編集
会津若松市民憲章推進委員会
(会津若松市環境生活課内)
〒965-8601
会津若松市東栄町3番46号
電話 0242-39-1221
FAX 0242-39-1420

平成23年3月1日号
(2011)



市民憲章表彰式

平成22年11月18日に中央公民館において花園コンクール・作文コンクールの表彰式が開催されました。

今年は83名、47団体が受賞し、式には表彰者やその家族など約130名が出席しました。

会場内には作文コンクールで入賞した絵日記や、花園コンクール入賞団体の活動記録が展示され、表彰者の日ごろの活動の成果に大きな拍手が送られました。

会津若松市民憲章

昭和43年5月3日

- 一、親切をつくし 住みよいまちをつくりましょう
- 一、きまりを守り 明るいまちをつくりましょう
- 一、健康で働き 豊かなまちをつくりましょう
- 一、環境をどとのえ 美しいまちをつくりましょう
- 一、自然と文化財を愛し ゆかしいまちをつくりましょう
- 一、教養を高め 文化のまちをつくりましょう



橋本花壇愛護会の作品（神指地区）

平成19年度から22年度にかけて4年連続花園コンクール最優秀賞を受賞。
平成22年度に市民憲章モデル花壇に認定されました。

「市民憲章」とは、市民自らが住んでいるまちをより暮らしやすくするため、自らが定めた理念や目標のことです。
本市では明治戊辰百年を迎えた昭和43年に先人の偉業と犠牲をしのび、平和・創造・繁栄の三つの誓いととも制定されました。六つの条文は「住みよいまちの道しるべ」でもあり、過去と現在そして未来とをつなぐ大切な架け橋となっています。
市民憲章推進委員会では、市民憲章を合言葉にふるさとを守り、育て、伝えていくために様々な運動を実施しています。

美しい花を咲かせるために



橋本花壇愛護会
会長
長谷川孝喜さん
(橋本二丁目)

地域の高齢者でつくる健康クラブが中心となり、10年程前から湯川河川敷で花壇づくりをしています。花苗のほとんどは会員が、種から育てたものです。

当初は土の質や雑草に頭を悩ませ、試行錯誤の連続でした。肥料を変えての耕運、雑草対策のマルチシート導入や、もみガラ散布により、ようやく強く美しい花を栽培することができませんでした。

河川敷には、運動や犬の散歩で訪れる人もたくさんいます。花を前にすると、はじめて会うひととも、自然と会話がはずみます。地域のみんなで育てた花を「いつもきれいですね。」とほめられることは、大変励みになり、うれしく思います。また、花が一斉に咲き誇る瞬間に立ち会えることも、やりがいのひとつですね。

これからも地域がひとつになり、色々な種類の花づくりをしていきたいです。

環境をととのえ

美しいまちをつくりましょう

花園コンクール

花と緑につつまれた、美しくうろのおいのあるまちづくりを進めることを目的に、花園コンクールを実施しています。
今年は7月から9月にかけて、コンクールを行いました。
審査の結果、応募総数56件のなかから個人9件、学校23件、団体・事業所24件が受賞しました。

賞の審査では、見た目の美しさだけでなく、花壇づくりを通じた、人と人との交流などの地域づくりも、重要な採点項目です。
審査中、花壇で栽培されている花の名前を、解説する看板に出会いました。一つひとつ丁寧に作りこまれた看板は、

健康で働き

豊かなまちをつくりましょう

花いっぱい運動

会津を訪れる方を花でお迎えするため、平成22年7月1日から11月末まで、会津若松駅前にペゴニアの花180鉢を設置しました。

設置期間中の花の手入れは、JR・OB会会津支部の皆さんにご協力いただきました。観光客からは「こんなに花いっぱい観光地は全国的にも珍しい。」などと、声をかけられたそうです。
会津の玄関口を美しく整え



まちを花でいっぱいに（駅前町）

ることは、最高のおもてなしの一つです。皆さんの活動で観光地会津を支えていきます。

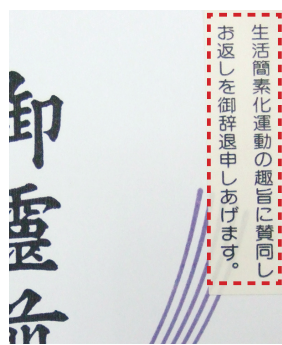
する工夫が、感じられました。
花壇づくりに参加する人だけでなく、住民も楽しむことのできる花壇づくりが、広がりを見せています。

ご存知ですか 市民憲章6カ条

生活簡素化運動

冠婚葬祭には、たくさんのお金がかかりがちです。そこで、なるべく負担を減らすため、特に葬祭の簡素化を呼びかけています。

葬祭のお返しを辞退する簡素化シールは、市環境生活課（☎39-1221）にて配布していますので、希望される方はお問い合わせください。



簡素化シール(右上)

生活簡素化運動推進事項

- 一 香典は、一般の場合千円程度とし、香典袋には簡素化シールを貼りましょう。
- 一 香典のお返しは、会葬礼状にとどめましょう。
- 一 初七日忌の「夕食使い」は、身内にとどめましょう。
- 一 病気見舞いのお返しは、礼状だけにとどめましょう。

域ボランティアへの感謝の気持ちを書いたものが多数ありました。

また、経済的な豊かさとともに、「心の豊かさ」が育つ

社会づくりをしたいという意見もありました。

大人も子どもも、郷土についてともに考え、よりよい社会をつくっていきましょう。

親切をつくし 住みよいまちをつくりましょう

「小さな親切」運動

互いに相手を思い、誰かのためにつくすことができるまちをつくるために、「小さな親切」として、普段見過ごされがちな、思いやりのある行動に、光を当てる運動を推進しています。



登校を見守る思いやり(山見町)

今年度は、「健康で働き豊かなまちをつくりましょう」をテーマに、作品を募集しました。審査の結果、応募総数495点のなかから74名が受賞しました。

作品には、将来の夢や働く両親の姿、登下校を見守る地

今年度は、市民の皆さんから親切な行為をしている方202名の推薦をいただき、内容が特に良い57名を、「小さな親切」運動県本部、全国本部へ推薦しました。

「小さな親切」実行章の贈呈式は、2月に開催されました。

友だちやご近所、まちで出会った方への「小さな親切」を、積極的に推進していきましょう。



行仁小学校

ごみのないまち
あさ、わたしは、かぞくでごみをだしにいきます。
みんながなかよくたのしくおそうじをしたり、ごみをかたづけたりできれば、どんどんきれいですみやすいまちになるとおもいます。まちも、こころも、ぴかぴかになるといいなあ。

絵日記の部最優秀賞
青木リ子さん（行仁小1年）の作品

教養を高め 文化のまちをつくりましょう

作文コンクール

子どものころから郷土に関する理解と、関心を深め、市民意識を育んでもらうことを目的に、市内の小中学生を対象に作文コンクールを実施しました。

今年度は「健康で働き豊かなまちをつくりましょう」をテーマに、作品を募集しました。審査の結果、応募総数495点のなかから74名が受賞しました。

作品には、将来の夢や働く両親の姿、登下校を見守る地

きまりを守り

明るいまちをつくりましょう

ポイ捨て犬ふん

マナー向上一斉清掃

まちに住む皆さんが、気持ちよく暮らすためには、共通のルールやきまりごとが必要です。

ごみのポイ捨てと、犬ふんの放置は、市の条例で禁止されており、違反者には罰則が科されることがあります。

しかし、ごみのポイ捨てや犬のふん害は無くなりません。きまりがあっても、守る人がいなければ、目的を達成することはできないのです。

「ポイ捨て犬ふんマナー向上市民会議」は、市民団体や市関係者で構成され、まちをきれいにする一斉清掃や啓発活動を行なっています。

平成22年10月17日には、犬のふん害が多い地区で、清掃活動を行いました。また、犬の散歩をしている人にはチ



まちをきれいに（行仁町）

シを手渡し、マナーの向上を呼びかけました。

犬ふんの持ち帰りを呼びかけるため、市環境生活課（☎39-1221）にて、啓発シールを配布しています。希望される方はお問い合わせください。

忘れものは ありませんか？

犬も大切な家族の一員です。

フンは必ず飼い主の方が
責任をもって始末しましょう。

●散歩のときは必ず処理用具を携帯しましょう●



啓発シール（A4サイズ）

自然と文化財を愛し

ゆかしいまちをつくりましょう

市民憲章

制定記念植樹

古代からの長い歴史を持つ会津若松市には、先人から受け継いだ自然や文化財が、たくさん残っています。

ふるさとの貴重な宝を未来に伝えていくために、自然や文化財の保全活動は、大切なことです。

市民憲章は、平成20年に制定から、40周年を迎えました。その記念事業の一環として、平成22年11月28日、NPO法人はるなか主催の「第3回桜の植樹祭」へ参加し、小田山



里山をきれいに（小田山）

に桜4本を植樹しました。小さな苗木が立派に育ち、会津の里山を桜でいっぱいにしてくれるよう、成長を見守っていきましょう。

編集後記

何年か振りの大雪に見舞われ、大変な辛苦を強いられましたが、3月の声と共に雪深い会津にも、素晴らしい春が訪れて参ります。

市民憲章だよりは、今年度から1回の発行となりました。編集に大変苦労いたしました。が、何とか完成する事が出来ました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

6項目からなる市民憲章条文は、大変に素晴らしいものです。この条文が生かされたまち・会津若松市になるよう、今後も尚一層の、皆様の御理解を心から期待しております。

広報委員（五十音順）

五十嵐久政・小関千津子
酒井眞知子・平野昇
武藤榮助・物江利雄

「ココロ」をつなごう



市民憲章推進委員会
委員長

物江 利雄

年1回開催される市民憲章全国大会は、全国各地で住みよいまちづくりを実践されている方々の発表会です。

今年度は9月に岡山県総社市において、開催されました。晴天に恵まれ、郷土色豊かな催し、発表、相互交流により会場内の熱気は最高潮に達しました。

私は、この大会を運営する住民一人ひとりの郷土への誇りと愛情を感じました。

最初はひとつのココロでも、同じココロが集まれば、爆発的な威力を生むのだと思います。豊かなまちづくりの原動力として、市民の力ほど強いものはありません。

人と人の大切な「ココロ」をつなぐための市民憲章を、これからも推進していきたいと思っています。